

# KVK 壁付サーモスタット式シャワー水栓 KF270(W) 〈各仕様共通〉 施工説明書

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
尚、この施工説明書と同梱の取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 安全上のご注意

- ここに示した **注意** は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示は、してはイケない「禁止」の内容です。

この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

### 注意

湯水を逆に配管しないでください。

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。

給湯に蒸気を使用しないでください。

器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。  
(寒冷地仕様の場合)

凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。凍結が予想される地域には寒冷地仕様水栓をご使用ください。

スチームルーム及び乾燥室にご使用の際は相談ください。

器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。

施工完了後は、配管接続部及び器具から水漏れのないことを確認してください。

漏水で、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

## 使用条件

○1 使用水圧〔A=（給湯機の最低作動水圧）+（配管圧力損失）〕

(1) 瞬間給湯機との組み合わせ

設定条件 ・水温：25℃ ・給湯機温度調節：高温 ・吐水温度：42℃ ・ハンドル全開

(比例制御式)

最低必要水圧	最高水圧
A+50.0KPa	0.75MPa

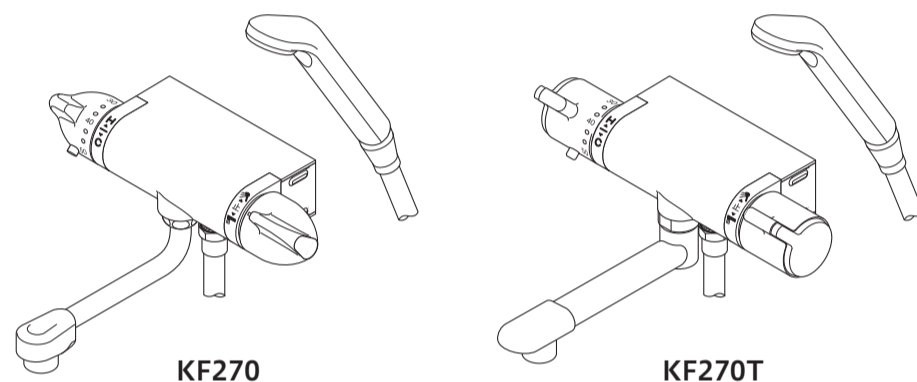
(2) 貯湯式給湯機との組み合わせ

(給湯・給水圧力)

最低必要水圧	最高水圧
A+50.0KPa	0.75MPa

- ② 吐水切換ハンドルは全開で使用してください。給湯機が着火しない場合があります。
- ③ 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ④ 給水圧力が0.3MPaから、0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ⑤ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で、0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑥ 給湯機からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑦ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯機を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。

## 本体外観図



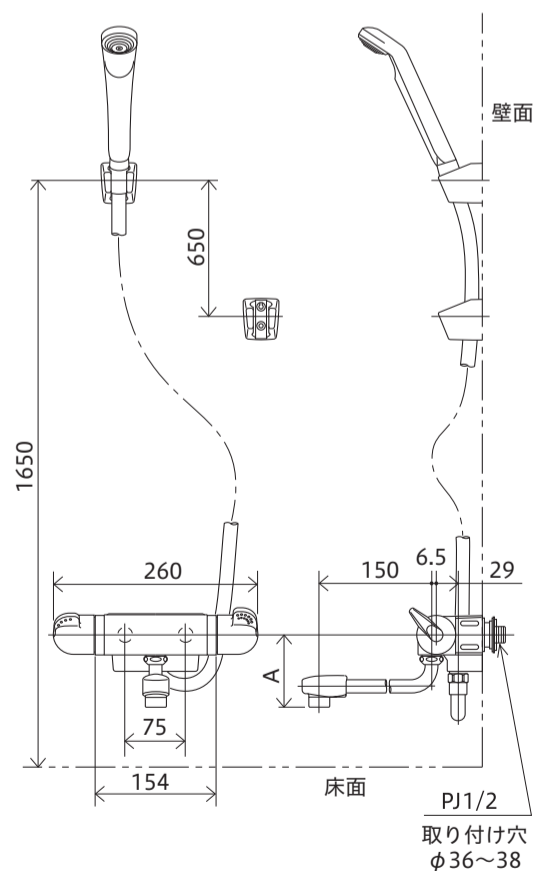
KF270

KF270T

## 寸法図と分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

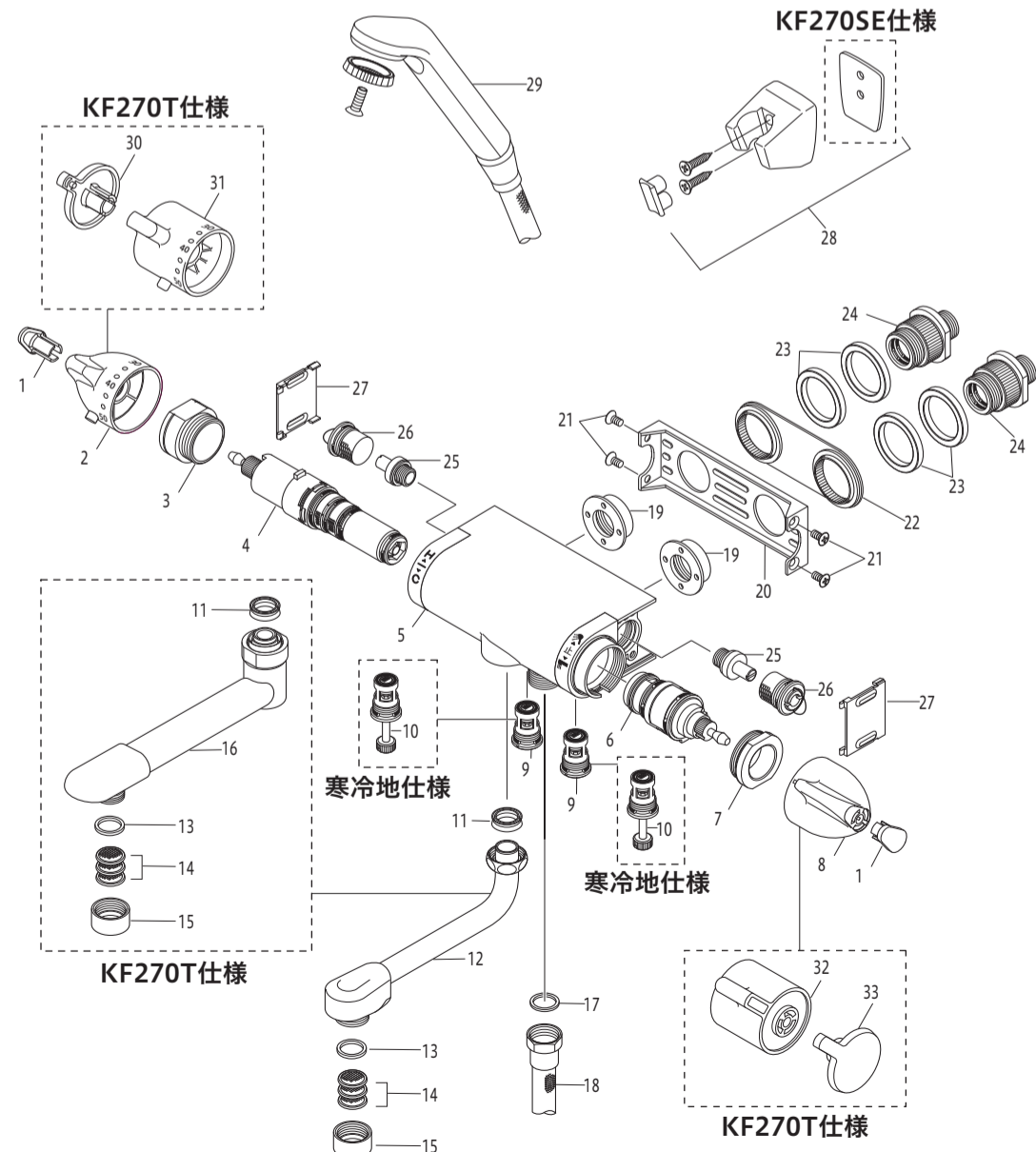
### 寸法図



A寸法	KF270(W)	91
	KF270(W)T	63

KF270仕様、KF270T仕様共、寸法は同じです。  
又、上記寸法は仕様によって異なる場合があります。

### 分解図



1	キャップ
2	温度調節ハンドル
3	温調側ナット
4	サーモスタットカートリッジ
5	本体
6	一時止水付切換弁
7	切換側ナット
8	吐水切換ハンドル
9	逆流防止弁
10	水抜き付逆流防止弁
11	Xパッキン
12	吐水口
13	パッキン
14	ストレーナ
15	整流器キャップ
16	吐水口
17	パッキン
18	シャワーホース
19	フランジ
20	取付ステー
21	ビス
22	固定ステー
23	スペーサー
24	アダプター
25	止水弁
26	ストレーナ
27	カバー
28	シャワーハンガー
29	シャワーヘッド
30	温調キャップ
31	温度調節ハンドル
32	吐水切換ハンドル
33	切換キャップ

# 取り付け手順

**1 給水管内の清掃**  
配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミを取り除いてください。

**2 アダプターの取り付け**  
① アダプターをカウンター裏側の配管に接続し、壁の厚さに応じてスペーサーを取り付けます。

壁厚	スペーサー
13~17mm	2枚
18~22mm	1枚
23~27mm	0枚

② 固定ステーをアダプターにはめ込み、カウンターの取り付け穴に合わせます。

**3 取付ステーの取り付け**  
カウンターをはさんで、フランジで取付ステーをアダプターに固定します。フランジの取り付けは専用工具 [PG5] を使用してください。

工具でつまみ締め付ける

5

**4 本体の固定**

- ① 本体をフランジに差し込みます。
- ② 本体と取付ステーをビスで固定（4ヶ所）します。  
【注意】ビスを電動ドライバーで締め付けますと、ビスの十字穴部が破損し、ビスの取りはずしに支障をきたす恐れがありますので、締め付けには十分ご注意ください。
- ③ カバーを取り付けます。ツメをカラーに差し込み、カチッと音がするまで押してください。

イラストはKF270

**5 シャワーホースと吐水口の接続**

- ① シャワーホースをシャワー接続部に接続します。
- ② 吐水口を吐水口接続部に接続します。

イラストはKF270

6

# 取り付け後の点検と清掃

## 通水確認

通水して、各接続部に水漏れがないことを確認してください。

## ストレーナ清掃のお願い

本体と吐水口のストレーナにゴミがたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったり、希望する湯温にならない場合がありますので、施工後必ず清掃してください。

➡ 取扱説明書の日常の保守・点検・お手入れ 参照

## サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

- ① カバー [2カ所] をはずします。切欠部に⊖ドライバーを差し込み、起こしてはずします。
- ② 湯水両側の止水弁をしっかり締めて、湯水がでないことを必ず確認してください。
- ③ キャップをまっすぐに引き抜いてはずし、温度調節ハンドルを取りはずします。
- ④ 温調側ナットを取りはずします。
- ⑤ サーモスタットカートリッジを取りはずします。  
(はずせない場合は、温度調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)
- ⑥ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

清掃後は上記の逆の順に組み立ててください。

・カバーをはめる時はツメをカラーに差し込み、カチッと音がするまで押してください。

イラストはKF270

7

## 止水弁の調節方法

流量調節は下記の方法で行ってください。

イラストはKF270

カバーはずし方	カバーはめ込み方
1. 切欠部に⊖ドライバーを差し込み、起こす	1. ツメを差し込む
2. 2. 抜き取る	2. 2. 押す

## 故障かなと思ったら...

次のような現象は故障ではありません。表に従ってもう一度お確かめください。

現象	処置	点検箇所
●吐水量が少ない	止水弁を開ける（止水弁の調節方法 参照）	（A）・（B）
	ストレーナを清掃する（取扱説明書のストレーナ清掃方法 参照）	（C）
	水圧を使用条件に合わせる（使用条件 参照）	給湯機
●高温しか出ない ●低温しか出ない ●目盛通りの湯がでない	止水弁を開ける（止水弁の調節方法 参照）	（A）・（B）
	ストレーナを清掃する（取扱説明書のストレーナ清掃方法 参照）	（C）
	必要とする湯の温度より、給湯温度を10℃以上上げる	給湯機
	温度調節ハンドルのズレを直す（取扱説明書の温度調節ハンドルの設定方法 参照）	（D）
●サーモスタットカートリッジを清掃する（サーモスタットカートリッジの清掃方法 参照）	（E）	
●シャワー吐水が不安定	熱源の温度を下げ（約60℃）、水側止水弁をしぼる（止水弁の調節方法 参照）	給湯機・（B）

イラストはKF270

8